教育委員会だより vol.57

天空海闊

―空、とこしえに碧くして　海、穏やかにどこまでも―

◆問い合わせ　▶町学校教育課総務係（☎82 ― 3111内線313）▶町生涯学習課（☎82 ― 3111内線621）へ。

児童・生徒の就学や進学をサポート

支援制度を活用ください

町と育英会では、学ぶ意欲のある生徒が経済的理由で進学や就学を断念することのないよう、奨学金や就学援助の制度を設けています。希望する人はご相談ください。

◆問い合わせ　町学校教育課総務係（内線３１２）へ。

■奨学金制度

◆応募資格　家計が学業の継続に困難な状況にあるが、奨学金の貸与で継続が可能な町内在住者

◆貸付内容

◎山田町育英会

▽採用人数　▼高校生…３人程度▼大学生・短大生・専門学校生…７人程度

▽奨学金　▼高校生…月額２万円▼大学生・短大生・専門学校生…月額５万円

▽返還方法　卒業後10年間の月払いで返還（無利子）

※成績や素行の不良、退学などの場合は、ただちに返還を求めることがあります。

◎伊藤育英会

▽採用人数　１人（４年制大学に進学予定の人）

▽奨学金　月額５万円

▽返還方法　卒業後20年間で▼月払い▼半年払い▼年払い――のいずれかの方法で返還（無利子）

▽返還免除　貸与金額の２分の１相当額を遅滞なく返還した場合、残余の返還を免除

◆申し込み方法　町学校教育課に備え付けか町のホームページに掲載している願書に必要事項を記入し、必要書類を添えて提出

◆申込期限　３月８日

■就学援助制度

経済的理由などで就学費用の負担が困難な小・中学生の保護者を対象に、学用品や通学用品、給食費、修学旅行費などの一部を援助します。

▽対象者　▼町民税が非課税か減免されている人▼児童扶養手当を受給している人▼東日本大震災で被災し、生活に困窮していると町教育委員会が認めた人▼その他経済的に困窮し、町教育委員会が援助の必要性を認めた人

▽申し込み方法　各小中学校に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、学校へ提出

学区外通学や区域外就学 希望者は申請が必要です

家庭の事情などで教育委員会から指定された学校以外の学校へ通学を希望する場合には、通学先が町内であれば「学区外通学」、町外であれば「区域外就学」の手続きが必要です。

右表の許可事由に該当し、「学区外通学」や「区域外就学」を希望する人は、お問い合わせください。

▷対象者

▶学区外通学…町教育委員会が指定する小学校以外の町内の小学校へ通学を希望する人

▶区域外就学…本町に住民登録があるが、町外の学校へ通学を希望する人

※中学校は町内が一つの学区となるため、学区外通学はありません。

▷留意事項　「学区外通学」や「区域外就学」の許可は１年単位です。原則として、家庭で通学手段の確保が可能な場合に限ります。

◇主な許可事由

学区外通学	①学年途中に通学区域外に転居したとき ②入学後に転居を予定し、異動するまでの間、転居予定先の住所を通学区域とする学校へ通学するとき ③保護者の共働きなどで、下校後に児童を監護する者が同居する家族にいないため、祖父母などの預かり先の住所を通学区域とする学校へ通学するとき ④短期間の転居で、再び元の通学区域に戻ることが予想されるとき ⑤児童への教育的配慮が必要であると認められるとき
区域外就学	①学年途中に町外へ転出したとき ②国立や私立の小・中学校に入学するとき ③児童生徒への教育的配慮が必要であると認められるときや、家庭の事情などでやむを得ないと認められるとき

◆申請先・問い合わせ　町学校教育課総務係（内線313）へどうぞ。

図書館だより

2　2023.Feb

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
5	6	7	⑧	9	10	11
12	13	14	15	16	⑰	18
19	20	21	㉒	23	24	25
26	27	28				

■：休館日　〇：移動図書館

【開館時間】
午前９時～午後７時
※日曜日と祝日は午後５時まで
※新型コロナの感染拡大状況により、休館日や行事などを変更する場合があります。
◆問い合わせ　町立図書館(☎82－3420)へ。

◆移動図書館運行予定表

滞在時間（40分程度）	運行日・場所	
	２月３日、17日	２月８日、22日
午前9時半～10時10分	大浦漁村センター	県営北浜アパート
午前10時半～11時10分	船越防災センター	豊間根生活改善センター
午後１時20分～２時	田の浜コミュニティセンター	下条コミュニティセンター
午後2時20分～3時	織笠コミュニティセンター	勤労者体育センター

新刊図書PICKUP（ピックアップ）

■一般図書
●天路の旅人　沢木　耕太郎著
●15歳からの社会保障　横山　北斗著
●心不全がわかる本　佐藤　直樹監修
●間取りがおもしろい平屋　主婦と生活社編
●大きなダーニング刺繍　ミムラ　トモミ著
●自分を大切にする練習　りんたろー。著
●町中華の丸かじり　東海林　さだお著
●大谷翔平2022　岩手日報社
●金環日蝕　阿部　暁子著
●おもみいたします　あさの　あつこ著
●東京あたふた族　益田　ミリ著
■児童書
●ノラネコぐんだんうみのたび　工藤　ノリコ著
●かぼちゃスープおふろ　柴田　ケイコ作

各種イベント情報

◎体験講座「バレンタインのお菓子を作ろう」

町教育委員会では、バレンタインの贈り物にもぴったりな「ガトーショコラ」の作り方を学ぶ、お菓子作り体験講座を開催します。
▷期日　２月11日（土）
▷時間　①午前９時半～正午②午後１時半～午後４時
▷場所　町まちなか交流センター３階調理室
▷参加費　600円（材料費）
▷持ち物　エプロン、三角巾やバンダナ
▷定員　各回８組（１組あたり２人まで）
※小学校低学年以下は保護者同伴
▷申込期限　２月８日（定員になり次第締め切り）
▷その他　▶完成後のお菓子は持ち帰りです。▶材料に卵や小麦、ナッツ類を使います。
◆申込先・問い合わせ　町生涯学習課社会教育係（内線624）へどうぞ。

陸中山田ＬＣから善意贈られる「はぴね」に寄付金30万円

寄付金贈呈式の様子

昨年12月９日に陸中山田ライオンズクラブ（小原義明（よしあき）会長）からふれあいセンター「はぴね」へ寄付金30万円が贈られました。「はぴね」では、寄付金を活用し、しかけ絵本や大型絵本などの児童書のほか、視力が弱い人向けの大活字本などを購入しています。

教育相談

専用(おなやみ)☎82－0783

学校や勉強のことなどで悩みがある方はお気軽にご相談ください。
▷相談日　毎週月・火・木（年末年始、祝日を除く）
▷時間　午前９時～午後４時

鯨峰爽やかに

何かを習得しようとした時、その方向性が間違っているとなかなか上達しないものだ▼極端な例を挙げれば、漢字を習得するのに何度も同じ字を書くという方法があるが、そこで人という字を覚えるのに「ノ」を何回も書いて後から「乀」を書いていては単なる作業となり、字を覚えるということにはつながりにくくなってしまう▼漢字には象形文字や会意文字などの種類があるが、意味を表す部首と音を表す部分でできている形声文字と言われるものが最も多い▼例えば、拍、伯、泊、舶はハクと読める。そうすると珀もハクと読めるのではないかと当たりがつく。部首のｷは手に、ｲは人に、ｼは水に、舟は舟に関係があると推察でき、なんとなく読みと意味が想像できるのではないだろうか▼蛇足ですが、日本で一番画数の多い漢字は、雲三つと龍三つを組み合わせた84画の漢字だそうです。

教育長　佐々木　茂人